

兵庫県立津名高等学校

同窓会阪神支部報

第28号
発行所

明石市大久保町松陰 768-24
東田 雅俊 内
津名高校同窓会阪神支部
TEL & FAX
(078) 935-6018
印刷所：共栄印刷株式会社
TEL (078) 341-0316

ふるさと淡路市

淡路市総務部

的崎 文人

(高三十六回生)



(はじめに)

淡路市は、20

05年(平成17年)

4月1日に発足し、

4月で18年となり

ました。

発足当時は、破

綻寸前の財政状況

でした。粘り強い

行政改革を断行

し、集約のメリッ

トを生かした質の

向上を目指しまし

た。

職員数は700

人余りから、40

0人余りに削減、

地方債残高(10

60億円)589

億円)は約半分に、

基金残高(43億円

↓165億円)は

約4倍となり、よ

うやく安定した財

政基盤が構築でき

ました。

これまでの守り

の財政運営から攻

めの市政運営に転

じ、成熟した市へ

とステップアップ

を

を図っているとこ
ろです。

(これまでの取り組み)

淡路市の将来像

は「いつかきつと

帰りたくなる街づ

くり」、これには3

つの意味がありま

す。

一つは、地域住

民、住んでいる人

たちが、安全・安

心で快適に生活で

き、住み続けたく

なる街づくり

二つは、出身者、

島外で頑張ってい

る人たちが、いつ

か帰ってきて住み

たくなる街づくり

三つは、交流人

口、訪れた人たち

が、住んでみたく

なる街づくりです。

淡路市は、「いつ

かきつと帰りたく

なる街づくり」を

スローガンに、積

極的に街づくりを

取り組んでいます。

特に淡路市が注

目を

目されている「企
業誘致」と「観光
振興」を中心に、
これまでの取り組み
について紹介し
ます。

「企業誘致」では、

東海岸(東浦)は、

製造業を中心に企
業立地を促進しま
した。

首都圏からは、

東洋合成工業が立

地、大阪からはプ

ライミクスが本社

移転し、兵庫県内

における三大都市

圏からの本社移転

第1号となり、地

方創生の先駆けと

しての評価を受け

ました。

市外からの企業

立地は30社を超え、

雇用の創出とも

に令和2年度から、

転入者が転出者を

超える社会的要因

による人口が増加

に転じ、給与所得

者が増加し、市税

の堅調な推移へと

つながり、住宅不

足が深刻化する程

の活性化が図られ

ています。

「観光振興」は、

西海岸(西浦)を

中心に展開してい

ます。その先駆けと
なったのは、旧野
島小学校です。「の
じまスコラ」に
生まれ変わり、西
海岸で最初の観光
拠点となりました。
その後、次々と
レストラン、カフェ
が立地し、毎日の
ようにマスメディ
アに取り上げられ、
阪神間から気軽に
行ける人気のリ
ゾート地となりま
した。
淡路島を訪れる
年間入込客数は約
1200万人、約
7割にあたる約
880万人が淡路
市を訪れています。
人気を支えるた
めのインフラ整備
にも取り組んでい
ます。
岩屋と明石を結
ぶ海上航路を維持
するため、「まりん
あわじ号」を建造、
岩屋ポートターミ
ナルを新築。
高速バス、高速
艇との結節となる
二次交通の強化策
として、淡路市を



淡路市夢舞台サスティナブル・パーク

一周する「あわ神・あわ姫バス」を運
行。
淡路インター
チェンジには、日
本初の民間施設直
結型スマートイン
ターチェンジも開
設されました。
淡路市は、今、
追い風が吹いてい
ます。
「企業誘致」に
より、雇用を創出
し、転入者が増加。
結果として、給与
所得者が増加し、
市税の増収につな
がっています。
「観光振興」では、
交流人口の増加と
ともに、淡路市の
認知度が高まり、
移住・定住にもつ
ながりました。
まさに、住んで
いる人が住み続け、
UIJターンにも
つながり、「いつか
翼を担うロケー
ションにあります。
大阪・関西万博の
開催を一過性のも
のにすることなく、
持続可能な地域経
済の活性化に結び
付けなければなら
ません。
万博のレガシー
誘致、阪神間と中
国・四国地方を結
ぶ広域観光圏の形
成、神戸、大阪と
淡路島を結ぶ海上
航路の復活等々。
他にも、国が推
進する「デジタル
田園都市国家構想」
に基づく「転職な
き移住」のモデル
ケースにも取り組
みます。
また、2050
年「ゼロカーボン
シティ」に向けた
「脱炭素先行地域」
にも認定され、再
生可能エネルギー
を基軸とした電力
インフラの強化化
にも取り組むこと
にも、「空飛ぶ車」
の実証実験、「自

動車の自動走行」
の社会実験等、次
世代モバイルにも
チャレンジします。
(むすび)
淡路市は、多く
の可能性を秘め、
何事にも積極的に
チャレンジします。
語りつくせないく
らいの夢がありま
す。
津名高校卒業生
の皆様、「いつか
きつと帰りたくな
る街づくり」、夢と
希望がふれる「ふ
るさと淡路市」を
今後ともよろしく
お願いいたします。
最後になりました
が、好調なふる
さと納税は、令和
4年度26億円の収
入となりました。
皆様方からの故
郷への思いが込め
られた貴重な財源
として、有効に活
用させて頂きます。
ありがとうございました。

淡路の今昔

(特に津名のこと)

片山 敏彦
(高三十回生)



津名高校OBの
皆さん、ご機嫌い
かがでしょうか？
私も津名高を卒業
して40年以上経ち
ました。もう島外
からの生活の期間
がだいぶ長くなり
ましたが、それで
も年に数回淡路に
帰ります。昭和に
卒業し、平成そし
て令和の時代にな
りましたが、島外

株式会社ツダ
TUDA
建築工事・リフォーム工事
土木工事・水道衛生設備
空調設備・工具販売
住所：淡路市志筑3077 TEL：0799-62-1661

ちょっと、ONOKORO
“おもろい”らしいでえ。
知らんけど。
ONOKORO
淡路ワールドパーク
〒656-2142 兵庫県淡路市塩田新島8番5
TEL. 0799-62-1192 www.onokoro.jp

精機株式会社

から見た者として淡路（特に津名のこと）の変遷を少しまとめました。

1 津名から淡路へ

1879年（明治12年）に行政区画として津名郡が発足した。当時の郡域は、淡路市の全域と旧五色町を含む洲本市の大部分が津名郡であり昭和15年に洲本町が市制を引いて洲本市として離脱した。古代律令制の頃の郡衛は現在の郡家にあつたと推測される。

2005年（平成17年）4月の平成の大合併により、津名郡内の五色町を除く淡路町・一宮町・津名町・東浦町・北淡町が合併して淡路市が発足した。このため、最近「津名」の名前がなくなっている。母校のあつた津名町の名称も住居表示の地域名からなくなった。それらと併せ、津名西警察や津名東農協なども組織再編等でなくなった。現在、津名の名称が残っているものは、津名中学校、津名港ぐらいである。淡路市が誕生し18年目を迎えているが、「津名」の地名がなくなっている。

母校津名高校も令和2年に創立100周年を迎えたが、未永劫「われらの母校 その名津名」を残していただきたいものである。

2 船から橋へ

神戸市舞子と淡路町岩屋を結ぶ明石海峡を横断した吊り橋は、1988年に着工し、10年後の1998年4月に供用が開始された。

神戸方面へ行くのに今まで船を利用しなければ行けなかったところが、自家用車またはバスで行けるようになった。その代わりに明石淡路フェリー（愛称たこフェリー）、淡路フェリー、甲子園フェリー、共同汽船の高速艇の就航が廃止となった。

なお、1995年（平成7年）の阪神・淡路大震災による地殻変動によって地盤が1mずれたことにより、橋の全長も1m伸びて3911mになったとのこと。

3 浦から海岸へ

近年、飲食店を含む観光業界の発展は目を見張るものがある。特にパソナグループを含む淡路市西部には多くの店舗の出店

があり、淡路島を紹介している情報誌には、淡路島西海岸と表記され、県道31号についてもサンセットラインと記されている。

4 津名高の所在地の変更

母校津名高校も昔は志筑中橋にあつたが、2005年に新校舎が建てられ現在（津名ハイツの隣）のところがなくなった。なお、昔の校舎も残っているが、今は関西看護医療大学がある。

私たちの在学中は、家政科1クラスを含む315名の生徒数であつたが、平成2年に家政科がなくなり、平成15年に理数コースが自然科学コースに改編されるなどを経て現在は4クラス160名の定員となつている。

昔はちよつとヤンチャもいましたが、根は真面目な生徒がほとんどで、時代は変わつてもあらゆる環境等の変化にも柔軟に対応できる津名高生であつてほしいと思います。



津名高の旧校舎

コウノトリ 淡路の大空を舞う

田中 種義 (高十三回生)

野外でお茶を楽しんでいた私たち四人の頭の上を白い羽の大きな鳥が飛んだ。地上からの距離は十メートルもなく、ばさばさと風を切る羽音が聞こえた。それも一羽ではなかつた。続げざまに二羽 三羽 また一羽と近くに舞い降りた。この大きな白い鳥 全部で八羽の群れであつた。

平成二十四年九月の初旬 但馬豊岡のコウノトリの郷公園での目撃であつた。津名高十三回生の同期の私たちが 卒業後もしばらく離れず付き合ひが続いている。それは今も 母校の野球応援は欠かさず 勝てば祝勝会 負ければ残念会と 折にふれ行動を共にしていた。この年 別組の小久保と笠山夫婦はスペインポルトガル フランスと欧州を巡る長旅に。残る宝谷夫婦と私 二組の夫婦は手軽な国内の小旅行となつた。東京を引き上

げ淡路に帰還していた宝谷夫婦を舞子駅で拾い 朝来市の竹田城址を手始め 出石 玄武洞 コウノトリ郷公園を廻り 夜は神鍋のブルーリッジホテルで旨い肴で一献 そんなぞろ歩きであつた。ところがである そのコウノトリ今や淡路島でも見られるようになってきた。絶滅危惧種に指定され 国の特別天然記念物でもある大型の鳥コウノトリ。日本の空からしばらく消えていたが 中国から譲り受け 兵庫但馬の豊岡で繁殖を試みたのが昭和四十六年 五十年前である。豊岡での飼育繁殖の試み 檻の中ではあるが一定数の繁殖が見られるようになった。元来 日本各地で野生状態で普通に飛んでいた。そこで檻の中ではなく自然に返す放鳥が平成十七年 当時皇太子さまのご来県を迎える野に放たれたのを記憶されている方も多いでしょう。

放鳥後のコウノトリの野生への復元力は素晴らしい。今では西日本を中心に各県で営巣している。海を隔てた淡路島でも その子孫が明石海峡を越えてきた。大きな羽を持つ飛翔力から見れば播磨灘でも難なく飛び越える。放鳥した個体を識別できるようにコウノトリ郷公園では足環を装着しており 遠くは韓国でも生息が確認されている。淡路島が彼らに生育に安全な領域と認識されたに違いない。飛来するだけではない。繁殖するつがいが繁殖するため営巣を始めたのである。令和三年から淡路市大町で巣づくりが始まり 無事に雛が飛び立った。三羽の雛が生まれたが 一羽だけ巣立ちした。自然界における親鳥の子育ても厳しい環境大変なようだ。引き続き昨年も営巣が見られた。二度あることは三度ある 今年令和五年 同じ大町で同じ雌雄の営巣が見られた。三月十五日に産卵したのが確認された。栄養不足や生存競争の激しさ そのうちの一羽が 今無事に育っている。永遠に淡路島での繁殖が続くことを願うのは私一人だけではないだろう。

コウノトリ 体長115センチ 翼長65センチ 翼開長195センチ 体重3.5kg 足は薄い赤色 嘴は黒く長い 身体は白色で翼の内側が黒羽毛である。原産地は中国南部 水田や湿地の多いところに住み 魚類 カエル 昆虫類 小型の哺乳類などを捕食。巣は高い木の頂上などに作り 同じ巣を連続すると修復で年々大型になる。約二メートルもある翼を広げて大空を優雅に舞う姿は美しい。長い足 長い首 長い嘴 なら田んぼや小川に潜むカエルや小魚を容易に捕食できる。

のどかな自然が残る淡路島はコウノトリにも住みやすい環境になる。私の故郷北淡町 母の里も同じく仁井の山奥。常陸寺山を源流に富島川 斗の内川 育波川と河川を利用した水田が広がる農村地域。仁井常隆寺のふもと 久々野の棚田にコウノ

Advertisement for Takata Hotel (高田酒店) featuring a bottle of sake and contact information for Takata Takashi (高田貴代志).

Advertisement for Takahana (宝と花琳) featuring contact information for Takahana Shunsodo (高八回生).

Advertisement for Fujii (株式会社フジイ) featuring a photo of a furniture store and contact information for S-Factory (株式会社フジイ).



高11回生 米田 泰幸さん撮影 淡路市大町



トリが飛来した。地元仁井の人々は、大町に続けとばかりコウノトリの巣作りの期待を語っている。何時の日か淡路島のそこか各地で絶滅危惧種でない 繁殖する天然記念物コウノトリが舞う姿を願う。コウノトリだけではない。壊れてはならないこの地球に生物多様性が続く、それは何時までも。

わがふるさと

伊弉諾神宮

田中 博和
(高十七回生)



津名高校を卒業して半世紀以上が経過しました。後期高齢者となり、身体各部所に痛みを感じる今日今頃です。

私は十年ほど都会(神戸)生活を経験しましたが、Uターンで淡路に。以降、地域と深い関わりの中で生活を送っています。

今、縁あって氏神の伊弉諾神宮の責任役員を担っており。少し神宮のご紹介をさせていただきます。

伊弉諾神宮は伊弉諾大神と伊弉冉大神の二柱を祭祀しています。明治四年に国幣中社、明治十八年官幣大社・伊弉諾神社として、更に昭和二十九年には神宮号の宣下により伊弉諾神宮と改称されたのであります。全国には八万社以上ありますが、神宮と称される神社は二十四社しか鎮座していません(明治神宮、熱田神宮、平安神宮、橿原神宮など)。由緒高き神宮であると言えます。また、古事記や日本書紀にその創祀を詳らかにする最古の神社でもあります。

拝される機会がありましたら、境内に碑が設置されており確認することができます。地元では伊弉諾神宮のことを「いづくさん」と呼称しています。年間四十近くの祭祀を行ない多くの参拝客が訪れております。今では年間約二百万人の方々が訪りられています。一月の粥占祭、四月の春の例大祭、四季の湯立神楽祭など年間を通じての神事が行なわれています。また、本殿の改修、淡路祖霊社の移築、南あわじ市出身樋口季一郎中将の銅像建立など目新しい物が目白押しです。淡路市内には、一三七社の神社が存在します。八幡神社、春日神社、事代主神社等です。どうぞ卒業生の皆様、地元の氏神神社や伊弉諾神宮には是非とも帰郷の際にはお詣り下さい。

近年、ふるさとが大きく変わりました。箱物は変わりませんが、地元の人たちの人間愛や人情味は変わりません。この町に住んでよかったです。常々思っております。それは、ふるさと離れて頑張っておられる皆様のお陰やと感じています。どうぞ機会があれば「ふるさと」を訪れてください。お待ちしております。



伊弉諾神宮

同窓会長ご挨拶

同窓会 会長
津田 豊
(高二十五回生)



津名高校同窓会 阪神支部の皆様、格段のご支援ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。昨年の総会には多くの阪神支部の皆様にもご参加頂き、このたび同窓会長を拝命致しました。第25回生の津田豊です。浅学非才で力不足は充分承知してはいますが、一杯務めさせて頂きます。前任の高島会長同様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

高島前会長が開設された同窓会のホームページは木長義昌委員長(高16回生)が専門性を有したリーダーシップを発揮され、随時更新してありますのでぜひご活用下さい。多様な記事が掲載されて同級生の消息など楽しく見ることが出来ます。来ますし参加することも容易く可能です。一度ご訪問ください。

100周年関連の記念行事は新型コロナウイルス感染症によるパンデミックのため事業内容を変更して挙行されました。平成28年から4年の間、高島会長を中心に学校関係者、PTA役員、同窓会役員は「チーム津名高」一丸となり、事業計画を練り上げるための打合せ、役員会、実行委員会の開催は延50回以上数え話し合いが重ねられました。関西フィルハーモニー管弦楽団の演奏の中止と式典の簡素化により、皆さんから100周年に託された寄付金は津名高校生を輝かせる「津名高生活躍基金」として運用させて頂きます。

基金の目的は津名高校の魅力を高めていくこと、現役生徒の将来につながる見聞を広めるお手伝いをし、同窓会員の活躍を顕彰することです。常任理事会の同意を経て、百周年を育んだ伝統と文化をますます輝かせるよう事業の運営に取り組んでいきます。まず、講演会、セミナー、シンポ

高13回生 人生100年 傘寿の同窓会 参加者一同

阪神支部に剰余金を贈呈しました。

立花 和也
(高五回生)
〒654-0071 神戸市須磨区須磨寺三十一番十二
TEL・FAX 078-731-3124

尾崎 田鶴子
(高六回生)
〒350-0001 摂津市千里丘四十一番三十七
TEL 06-6389-4070

矢野 端
(高七回生)

田中 種義
(高十三回生)

南 正光
(高十四回生)

松野 聰子
(高十五回生)

ジウム等の開催です。創立記念日事業で招聘していただきます。講師等のお手伝いをしたいと考えています。

次に研修旅行・体験事業の参加及び開催です。阪神支部、東京支部等の会員の皆様のご協力をお願いして現役生徒の見聞を広めることを主眼に実施したいと思っております。もちろん同窓会員の研修も多くの賛同があれば協力可能です。

さらに学校の教育環境、部活動環境の整備に協力したいと思っております。体育部、文化部に問わず激励できる一助となりたいと思っております。輝く津名高校生が創出できる事業があれば提案を受け進めて行きますのでよろしくお願ひ申し上げます。



阪神支部長 東田 雅俊 (高十八回生)

阪神支部の活動に是非ご参加を

津名高校同窓会 阪神支部の皆様こんにちは。これくらいよい本格的な夏が訪れてまいります。皆様方にはお元気でお過

ごしのこととお慶び申し上げます。日頃は阪神支部の活動に何かとご協力・ご支援を賜っておりますこと心より御礼申し上げます。

た竹中郁氏は「世界に広がる鼓動を聞き、人となる日をいま待つわれら」という歌詞に津名高校生が着実に活躍し、学び舎が輝く凛々しい生徒に願いを託されたと思えます。卒業していく生徒が誕生した時から、将来を案じつつ幸せを願う想いでこのフレーズに來ると涙腺が緩むのは私だけででしょうか。今後、同窓会として重要な役割に挙げられるのは、津名高校の存続に

関与し皆さんの知恵を行動に移していく事ではないでしょうか。少子化が進む淡路島内の県立高等学校の再編は避けられませんが、皆さんが望む最良の形に出来るのか、一層のご支援ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

校歌を作詞され

ます。コロナ禍から三年余、本年五月八日より新型コロナウイルスが感染症法上の分類が二類からインフルエンザと同等の五類に引き下げられ、やっと普通の日常生活が戻ってきました。しかし、コロナ禍も完全に収束したわけではありません。

そして、このコロナ禍は同窓会活動にも多大の影響をもたらしました。まさに冬の時代でありました。しかし、このことで、我々は人と人の交流が如何に大切かを思い知ることになりました。何気ない友人・知人・同窓生等との会話、ワイワイ言いながらの飲食等、これらがどれだけ我々の生活に潤いをもたらしたか、生活を豊かなものにしてくれるのかを気づか

してくれました。

役員が全体として高齢化してきていくことです。このような中、持続可能な阪神支部の運営を目指し

昨年11月の役員会で「今後の阪神支部のあり方検討会」の設置を決め、検討を重ねてまいりました。その意見の中で、重要なポイントとは「幅広い年代層の方に役員になっていただくことが一番重要である」ということでした。

阪神支部の活動に参加してみよう、新聞編集に興味があるという方は、是非役員や事務局(支部報に掲載しております)にご一報ください。よろしくお願ひします。

役員が全体として高齢化してきていくことです。



津名高等学校 校長 仲山 惠博

学校長ご挨拶

阪神支部の皆様には、益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃より母校の教育活動にご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。私の津名高校での勤務は3年目となり、同窓会をはじめ地域の協力もあり、学校の経営にも慣れてはきましたが、同時に津名高校の校風や積み上げてきた歴史に重責を感じる毎日です。津名高校2世紀目の歴史に貢献できるよう本年度も頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

本校が創立100周年を迎えた年に、世界を新型コロナウイルス感染症が襲いました。創立100周年記念事業は、多くの予定を変更して無事に実施できましたが、学校はこの3年間、学習に部活動に学校行事に多くの影響を受けました。しかし、徐々に本来の活動を再開し、縮小して実施していた体育祭は、昨年度より制約を設けず実施しました。修学旅行は3泊4日沖繩方面で実施し、さらに新たに校外行事を取り入れ、観劇や社会見学を行いました。生徒の笑顔や意欲が増し、学校の活力が戻りつつあります。コロナの影響は負の側面だけではありません。IT環境の面では校内のインフラ、ソフトウェアの状況は格段に進歩しました。1、2年生はタブレットを持参し、連絡事項だけでなく課題の提示や提出、在宅学習に活用し、教育環境は大きく前進しています。また学校生活では、一人一人が主体的に考え行動できるよう、学習生活の諸規則を運用面で柔軟に対応できるように改めると、コロナ禍からの復活は、単

活動を取り戻しつつあります。学校行事では、昨年度3年ぶりに文化祭を実施し、規模を縮小して実施していた体育祭は、昨年度より制約を設けず実施しました。修学旅行は3泊4日沖繩方面で実施し、さらに新たに校外行事を取り入れ、観劇や社会見学を行いました。生徒の笑顔や意欲が増し、学校の活力が戻りつつあります。コロナの影響は負の側面だけではありません。IT環境の面では校内のインフラ、ソフトウェアの状況は格段に進歩しました。1、2年生はタブレットを持参し、連絡事項だけでなく課題の提示や提出、在宅学習に活用し、教育環境は大きく前進しています。また学校生活では、一人一人が主体的に考え行動できるよう、学習生活の諸規則を運用面で柔軟に対応できるように改めると、コロナ禍からの復活は、単

純に元に戻すのではなく、新しい時代に対応した行事や生活を、生徒と職員がともに考え、作り出すことで進めて参ります。同窓会員の皆様、これからの本校の姿をどうぞご期待ください。

昨年度、生徒の活躍の状況は、陸上競技部と男子ソフトテニス部が近畿大会出場、ギターマンドリン部が全国大会連続出場、書道部が全国総合文化祭出場、男子バスケットボール部員が国体選手に選ばれて活躍、読書感想文では全国の選考で「サントリー奨励賞」を受賞するなど大いに活躍しています。

活躍しています。令和5年3月の卒業生、74回生の155名の進路実績は、国立大学進学者数は22名、私立大学へは61名、短期大学・専門学校等へは56名、公務員・就職者は10名でした。コロナ禍であっても、母校の後輩たちは、校訓「自主、誠実、勤勉」のもと、たくましく活躍しております。

中野 淑郎 (高十五回生)

東田 雅俊 (高十六回生)

正徳 孝夫 (高十六回生)

上田 敏晴 (高十六回生)

高十七回生 サッカー部一同
川添 茂弘・潮崎 章二
正面 昇

行政書士みつや法律事務所
行政書士 潮崎 章二 (高十七回生)
〒664-0866 伊丹市昆陽東四丁目十三番一
札幌ノ辻ハイツ208
TEL 072-727-6767
FAX 072-727-6771
19662
19663

田中 博和 (高十七回生)

森 章次 (高十八回生)

高十八回生有志一同
杉岡実季子 (旧姓 宇城)
仲野和美
鶴田真弓 (旧姓 中之内)
奥田照子 (旧姓 酒井)

阪神支部総会に参加

谷 つや子 (高十三回生)

令和四年八月二十七日阪神支部総会が母校所在の淡路島で開催され神戸より貸切バスで出発しました。三宮ではバスが到着するまで参加者が次々と集まってくる一人の人が「あせんどぶりやな」とそれに答えて相手の方も「ほんまやなせんどぶりやな」の会話で始まり淡路のなつ

かしい言葉に私はしばらく忘れてしまっていたこんな郷土の言葉を思い出してこれから参加する会議への緊張感の緩み親しみが沸いてきました。三宮からは五回生の方から二十六回生の方まで総勢十七名が参加です。会議の前に高田屋嘉兵衛顕彰館の見学をさせていただきました。作家

司馬遼太郎の小説「菜の花の沖」において描かれている郷土淡路島が生んだ偉大な業績を残したことで有名ですが資料館の方の説明を聞かせていただいた事でより一層偉大さが身にしみました。昨今、淡路島も大手資本家等の進出により開発なされていますが淡路島のこれまでも海と山の風光明媚がなくならないかと心配したりもいたします。

さてこの記念館を後にして五色ウエルネスパークに



高田屋顕彰館・歴史文化資料館

ラタンと三十年

藤本 晴子

(高二十五回生)

小さい頃から、家に背と肘付きの椅子が有、木でもなく、布でもなく、

もよく写っていて、子供なら二人、体格のいい大人でも余裕を以って坐れる大ききで、良く乗って遊んでいました。後年、随分経ってからラタン(藤)で出来ていると知りました。

長男が小学生のころ、授業参観や保護者会の後、何人かの方と、よく立ち話をし、学年が進むに連れて、クラス替え後も親しく取り留めの無い話や子供同士の事等、心置きなく話せる間柄になりました。至極的によくある事象だと思います。或る時「此の時間に皆で、何か形に残るものがしたいわね」と話が出て、同調者を含め九名で始めたのがラタン作りでした。「手が荒れるからパス」とか、別のご趣味をお持ちの方も、側面支援して下さり心強い存在でした。

平成六年(一九九四年)一月、近くの公営集会所の一室を借り、スタートしました。初めて話が出たのは紅葉の頃であったと記憶してあります。進展する毎に集まり、電話連絡し、今でしたらメール

で一齐にお知らせ出来るでしょうが、当時は「ピッチェさえ普及しておらず、約二ヶ月で始動出来たのは幸運でした。

先ず、会の位置付け。同じ小学校に通う児童の保護者同志の集まりなので、PTAのクラブ活動にしてはどうかと案が出、野球・バレーボール・卓球・コーラスが既に活動していました。PTAの運営委員会に諮った結果、承認され、学校側もPTAも応援して下さい嬉しいういさぎよい有りました。他のメンバーも初めての事に挑戦する心意気でワクワク感一杯だった様子でした。

次に、教えて下さる方、つまり講師をどうしようか?になり、子供が所属する地元サッカークラブに、ラタンを習っておいでの方を思い出して連絡を取り、丁度、一年一回の作品展の期間中で、鑑賞に赴き、直談判で事の成り行きを話し、曜日と集まりの間隔、謝礼、道具類、材料費等が、スイスイと進み了解を取り付けました。

そして、手ぶらでは作れません。必要最低限の道具類と初期に使用の材料を買い出しに台東区浅草橋の貿易会社へメンバーと共に行き、ずっしりと重い荷物を持ち帰りました。一定の金額以上購入の場合、送料無料で発送出来るようになりました。知りましたのは、最後の事でした。

最後は会の名称です。第一回目の集会所をお借りする時の申請書類に「仮称・藤成会」と咄嗟に書き、メンバー内で、当時の女性校長にお願いしてみてもどうかと案が出て、第二回以降、小学校の施設が使用可能になった時、講師と共に全員で挨拶に赴き、その場で「お母様達が集まって楽しめたらよろし

淡路島は活性化しつつある

清水 啓司

(高二十二回生)



淡路島では人口減少と少子高齢化が言われ続けて久しい。人口統計情報でみてみると、淡路地域の人口減少率は厳しい。淡路三市の人口は戦後ピーク



いんじゃないですか。藤を楽しむ会なんて如何でしょうか」と即決。夏・冬・春の各休みを除いて、子供達が学校に居る日、月二回の月曜日、年間二十回は、コロナ禍の休校期間がありましたが、三十年経った今でも続いていきます。皆、ラタンに囲まれた生活で、編んでいる刻は、集中し、ひとときのオアシスとなつていく様で頑張ってきた甲斐があつたのかと思います。

昨年、三年振りには淡路市へ帰省した折りに現地視察をしてきました。開発が進む北淡路と西海岸(岩屋(郡家)を車でドライブしたが、アトラクション・劇場や飲食などの施設・店舗が新たに20以上も確認された。パソナグループやバルニバービ(外食・上場)を中心に、都会から移住してきた起業家精神旺盛な若者達の店舗が競い合っている。地元の方に聞くと、夏休みや連休は京阪神からの観光客で大賑わいになり、県道31号線は大渋滞で、人気店は4〜5時間待ちの大行列になるそうです。

北淡路と西海岸(別名サンセットライン)の景観は一変し、「観光の町」と化していることに驚かされました。淡路市の門市長が「ラッキーさが今の淡路島に吹いている」とおっしゃったことを実感した次第です。

1. 観光

淡路島は近年、京阪神からの日帰りの観光スポット(若者のデートコースなど)として注目されています。淡路島を訪れる

観光客は1260万人(19年)と10年前から300万人以上増えた。残念ながら20年以降の影響で大幅に減少した。しかしながら、昨年後半あたりから、西海岸サンセットラインの大賑わいも分る通り、観光客は確実に戻りつつある。

北淡路や西海岸にはテーマパークやアトラクション施設が次々とつくられ、若者の集客に一役買っています。一方で観光地の開発競争が行き過ぎて自然破壊を招かないか一抹の不安がある。北淡路では兵庫県立淡路島公園としての景観の整備・保全が不可欠で、自然と如何にバランスをとるかが重要になってきます。

個人的には、海や里山など自然と一体化した観光地や文化資産などを活かした観光プランを増やして欲しいと思っています。

2. 移住

今回、東京淡路会の会報誌あわじの「淡路島移住特集」を企画し、実際の移住者の方々に取材をさせていただきました。そ

税理士 **花野正悦**
〒652-0804 神戸市兵庫区塚本通七丁目一十四
TEL (〇七八) 五七八一五三三五
FAX (〇七八) 五七七一三三三八
(高十九回生)

音楽健康指導士
西眞理子
(高十九回生)

津名高校同窓会東京支部支部長
東京淡路会副会長
清水啓司
(高二十二回生)
〒333-0803 埼玉県川口市藤原新田八十八
TEL (〇八〇) 六五二八八三三四八

五条正仁
(高二十五回生)

志田守
(高二十六回生)

FJK法律事務所
弁護士 **藤木啓彰**
(高二十七回生)
事務所 大阪府中央区北浜三丁目一―一
淀屋橋平井ビル六階
TEL 〇六 (六二〇六) 四一七〇
FAX 〇六 (六二〇六) 四一七〇
E-mail info@fjk-law.com
http://www.fjk-law.com

あかね税務会計事務所
代表税理士 **片山敏彦**
(高三十回生)
〒530 大阪市北区天神橋二丁目三番八号
MF南森町ビル三階
TEL 〇六 (六八〇九) 二五七〇
FAX 〇六 (六八〇九) 二五七一
E-mail kakane@kve.biglobe.ne.jp

阪神支部の幹事・編集委員募集
阪神支部の活動に参加したり、楽しく支部報を作りませんか。興味のある方は事務局や役員にご連絡ください。お待ちしております。



こで驚いたのは、移住者の年齢構成が大きく変化していることです。従来はリタイヤ組（ゆっくり田舎で過ごす）が多かったが、最近では淡路島が、意識高い系で起業精神旺盛な若者の活躍の場になりつつある。特に30代女性は「昔から笑う人であったが、（大阪時代）突然笑顔を失い、しんどかった。淡路島に移住してきて今でははっちゃけている」という言葉がとても印象的で、「移住は人生を変えるメソッド」であると強く感じました。



西海岸サンセットライン

代から利益を奪い合うという「若者VS高齢者」の世代間対立が起きている。淡路島でも意識高い系の若者が増加するなか、現在世代と将来世代が知恵を出し合って、利益と負担を分かち合う熟成した地域社会を目指して欲しいものです。

津名高校同窓会東京支部では、2020年以降三年連続で、新型コロナウイルス感染防止の観点から、参加者全員の健康第一を考慮し、同窓会並び各種イベントは全て開催中止とさせていただきます。今年も少しづつ再開したいと思いません。会員の方々



元興寺にて

も顔合わせを楽しみにいますので、まずは、趣味の会（つなごう会）の開催、6月頃に同窓会総会・懇親会を開催出来るよう準備を進めたいと思います。

同窓生とならまち散策

吉岡 重之 (高十五回生)

長引くコロナ禍でこの三年間自身に強めの行動自粛を課してきました。感染者もそろそろ落ち着いてきた春の心地よい日差しの中、久しぶりに遠出(?)をして奈良巡りに参加させていただきました。実のところ当日の三週間前に家で止とさせていたのですが、今年も少しづつ再開したいと思いません。会員の方々

私がこの津名高校に入学し二年が経とうとしています。「書道部に入部する」そう心に強く決めた瞬間から今日まで、常に向上心を持ち続け、書道部の一員として日々励んでいます。部活動では書道展に出品する作品や、書写検定に向けての練習など部員それぞれが目標を持って、活動しています。

日々精進

矢野 明日香 (高校3年生)

私が高校一年時に、「全国公式書写検定」を受験する機会を頂き挑戦しました。検定にはいくつもの課題があり、聴写や手紙など筆字以外の力も問われるため、とても苦戦しました。テスト期間と重なっていたため、部活動以外に家で何度も練習し一級合格を目指して取り組みました。顧問の先生が「文部科学大臣賞」の受賞を伝えてくださった時には驚きと嬉しさで言葉が出ませんでした。賞状と盾を頂き、徐々に実感が湧いてきました。

また昨年の夏には、テレビ番組「博士ちゃん」に出演させて頂きました。出演を通じて改めて書道に対する自分の姿勢を見つめ直すことができました。普段自分が字を書く上で意識していることを、どのように表現し、どう皆に伝えるのか。収録までに何度もモチベーションを高め、準備しました。多くのみなさんに字を書くことの楽しさを伝えるだけではなく、自分自身もその魅力を再発見できたと感じています。また出演を通じて



テレビ「博士ちゃん」に出演



全国総文推薦賞を受賞

し、書道以外の面でも多くのことを学ぶことができました。打ち合わせから実際の収録までの一つ一つの出来事全てが、自分の刺激となり、視野を広げてくれました。本当に貴重な経験をさせて頂いたことに感謝しています。

今春、三年生となり学校生活も残り一年を迎えます。入学してから学校生活、部活共に充実した毎日を送ることができています。忙しく駆け抜けた二年間という時間を振り返ると、本当にあっという間で、その中の様々な経験が全て今の自分の自信になっているのだと思います。残り少ない部活動の時間を大切に、部活動の時間を大

切に、部活動の集大成として向上心を持って取り組んでいきたいです。そしてまず第一に、指導して下さる先生方や支えて下さる地域の方々をはじめ、周囲への感謝を忘れず、残りの学校生活を後悔のないように日々精進していきます。

津名高等学校74回生(令和5年3月卒業)進路状況

津名高等学校 進路指導部

四年制大学

大学名	進学
愛媛大学	2
岡山大学	1
香川大学	2
京都工芸繊維大学	1
神戸大学	1
島根大学	1
徳島大学	6
鳥取大学	1
国立大学合計	15
愛媛県立医療技術大学	1
大阪公立大学	1
尾道市立大学	1
香川県立保健医療大学	1
周南公立大学	1
兵庫県立大学	1
広島市立大学	1
公立大学合計	7
国公立大学合計	22
大阪音楽大学	1
大阪芸術大学	2
大阪産業大学	1
大手前大学	1
岡山理科大学	1
関西看護医療大学	5
関西大学	2
関西福祉科学大学	1
関西学院大学	1
京都光華女子大学	1
京都産業大学	3
京都女子大学	1
近畿大学	1
甲南女子大学	1
甲南大学	4
神戸学院大学	3
神戸芸術工科大学	1
神戸女子大学	3
神戸親和大学	1
神戸常盤大学	7
高野山大学	1
四天王寺大学	1
摂南大学	2
大正大学	1
東海大学	1
兵庫大学	1
佛教大学	2
武庫川女子大学	5
大和大学	3
龍谷大学	3
私立大学合計	61

短期大学

短大名	進学
大阪キリスト教短期大学	1
大阪夕陽丘学園短期大学	1
大手前短期大学	1
神戸女子短期大学	2

短大名	進学
産業技術短期大学	2
頌栄短期大学	1
聖和短期大学	1
湊川短期大学	1
武庫川女子大学短期大学部	1
短大合計	11

専門学校

学校名	進学
大阪労災看護専門学校	1
岡山労災看護専門学校	1
関西総合リハビリテーション専門学校	8
関西労災看護専門学校	2
神戸看護専門学校	1
四国医療専門学校	1
東洋医療専門学校	1
兵庫県立総合衛生学院	1
神戸総合医療専門学校	1
平成淡路看護専門学校	2
横浜労災看護専門学校	1
神戸医療福祉専門学校 中央校	1
大阪アミューズメントメディア専門学校	2
大阪ウエディング&ブライダル専門学校	1
大阪ダンス・俳優&舞台芸術専門学校	1
大阪動物植物海洋専門学校	1
大阪ビューティーアート専門学校	1
大阪ホテル専門学校	1
京都皇典講究所 京都國學院	1
関西ビューティープロ専門学校	2
関西美容専門学校	1
京都建築大学校	1
グラムール美容専門学校	1
神戸製菓専門学校	1
神戸電子専門学校	3
神戸ベルエール美容専門学校	2
辻調理専門学校	1
トヨタ自動車大学校	1
名古屋スイーツ&カフェ専門学校	1
日本栄養専門学校	1
姫路福祉保育専門学校	1
専門学校合計	45

就職状況

会社名	就職
医療法人社団淡路平成会 東浦平成病院	1
株式会社薫寿堂	1
株式会社神戸製鋼所 加古川製鉄所	2
税理士法人エンラ	1
日本製鉄株式会社 関西製鉄所	1
有限会社福田	1
民間就職合計	7
公務員種	就職
淡路市役所	1
海上自衛隊 一般曹候補生	1
刑務官	1
公務員合計	3
民間公務員合計	10

クラブ活動の状況(令和4年度)主な活動状況

体育部活動状況

令和4年度近畿高等学校ソフトテニス選手権大会
男子団体戦 令和4年7月22日(金) 蜻蛉池公園
テニスコート(大阪)
1回戦 津名対耐久(和歌山)
竹田・中田 4-3 勝ち
弦牧・山下 4-0 勝ち
渡瀬・高谷 4-1 勝ち
2回戦、の綾羽(滋賀1位)
竹田・中田 1-4 負け
弦牧・山下 1-4 負け
渡瀬・高谷 0-4 負け

●**野球部**
令和4年度 夏季兵庫県高等学校野球大会 兵庫県大会
2回戦 津名3-5西脇
令和4年度 秋季兵庫県高等学校野球大会 兵庫県大会
1回戦 津名1-0 県立尼崎工業
2回戦 津名5-10市川

●**男子バスケットボール部**
第77回国民体育大会 少年の部
県選抜チームに選ばれ出場
溝上 皓大 **非常に優秀な成績でした!**

文化部活動状況

●**ギター・マンドリン部**
第46回兵庫県高等学校ギター・マンドリンフェスティバル(明石市民会館)
序曲「過去への尊敬」(メラナ=ファクト作曲)
※全国大会推薦 **非常に優秀な成績でした!**

●**書道部**
第46回兵庫県高等学校総合文化祭書道展(兼)第68回兵庫県高等学校書道展 **非常に優秀な成績でした!**
全国総文推薦賞 2学年 矢野 明日香
特選 2学年 笹田 ころこ
入選 2学年 庄瀬 はるな
1学年 桶土井 春奈

●**メディア部**
第30回兵庫県高等学校写真コンテスト
入選 3学年 上坂 美咲
作品名「始まりと終わり」
第46回兵庫県高等学校総合文化祭 写真部門
入選 2学年 矢山 陽菜里
作品名「時の流れ」
2学年 阿津 葵
作品名「信号機」

●**読書感想文**
サントリー奨励賞受賞 2学年 矢野 明日香

●**男子ソフトテニス部**
令和4年度兵庫県高等学校総合体育大会ソフトテニス中央選手権大会 男子団体戦
令和4年6月3日・4日
2回戦 津名 3-0 小野
3回戦 津名 0-2 姫路東
近畿大会出場枠決定戦
津名 2-0 東播磨 ベスト12 近畿大会出場決定

非常に優秀な成績でした!

●読書感想文
サントリー奨励賞受賞 2学年 矢野 明日香



自然薯の蔓伸びてゐる長寿村
百景の一つに母校鳥渡る
星月夜戸袋に手をかけしまま

縁側に広げし玩具小鳥来る
打ち寄せる波に素足を喜ばせ
菜の花や夕映え淡き瀬戸の海

春光を浴びて出を待つ舳ひ船
北窓を開いて入れる鳥の声
法要は生者の集ひ島の春

野水仙咲く道姥に逢ひにゆく
二百年前に芭蕉の句碑を建てた人らの
想ひを訪ねふると巡りき

ふるとの岬の向こうの駐在の
息子は著明な作詞家阿久悠
朝の浜辺に笑顔弾けり

一升瓶回し飲みする秋祭り
昔むかしと同じ光景
おいらには伸びしろありと嘯ひて
海峡渡った十八の春

ふるとは線香の町車窓から
入る風にも香り漂う
ゆうまぐれに海へ繰り出し鳥賊釣りき
兄は釣り方われは漕ぎ方
木漏れ日を浴びつつ腹ばい息詰めて
めじろを捕りき幼き吾は
ふるさとの実家の買い手に念押ししき
庭の桜木切ることなかれと
高校の卒業記念に友七人と
淡路島巡りたり自転車漕いで

淡路を詠む

俳句

安保 美恵子(旧姓吉岡)
(高十二回生)

短歌

岡内 ととむ(雅号 詠菜)
(高十六回生)

令和5年度 高17回生・昭和41年(1966年)卒業 4・5・6組合同同窓会開催のご案内

昨年は久しぶりに開催出来、楽しい時間を過ごすことが出来ました。この時の皆さんの総意により、今年度も下記の通り開催を予定していますので案内いたします。

詳細等については世話人代表 榎筒 亨夫より別途連絡いたします。
正面 昇 (高17回生)

一開催の案内一

- ◎開催日 令和5年11月12日(日) 12時～(受付11時半～)
- ◎場所 舞子ビラ神戸 TEL078-706-3711
神戸市垂水区東舞子町18-11
世話人代表 榎筒 亨夫 携帯090-3862-3127



25回生(昭和49年卒業) 同窓会開催のご案内

25回生の皆さんお元気ですか!この3年間、不自由な生活を強いられてきましたが、社会もポストコロナに向け動きはじめました。そこで、久しぶりの同窓会の開催を計画致しました。奮ってご参加下さいませようお願い致します。詳細は往復はがきにて皆様にご案内いたします。

代表世話人 津田 豊

一開催の案内一

- ◎開催日 令和5年11月8日(水) 12時半～(受付12時～)
- ◎場所 神戸三宮東急REIホテル
神戸市中央区雲井通6-1-5 TEL 078-291-0109

人生100年 傘寿の同窓会

第13回卒業生の同窓会は令和5年4月25日淡路島津名ハイツに於いて来賓として淡路市長門康彦氏(高15回卒)、同窓会長津田豊氏(高25回卒)をお迎えして開催されました。当初5年前と同じ大阪での開催が計画されていましたが「淡路島北部の変化・発展の様子を見てもらいたい事」「移転した津名高校を見学する事」「傘寿でありこれから先卒業生全体での同窓会は多く望めないであろう事」から一つの区切りと思い、地元津名町での開催を決定した次第です。

今回の同窓会参加者はこれまでの推移から40名程度と思われましたが皆様のご尽力・ご努力のおかげで東京、九州等遠方の方々を含め55名となりました。

同窓会はお亡くなりになられた方々への黙禱、校歌斉唱で始まりました。門市長より市政の現状報告、津田会長の御挨拶、参加者の自己紹介、雑談、抽選会、カラオケ、そしてハモニカ演奏もとび出し大変盛会のうち3時半ごろ、無事終了しました。その余韻のまま市内数ヶ所で歌、懇親会、また津名ハイツで宿泊された方々も夜遅くまで談笑された様です。

80歳になっても皆様の熱気が感じられ人生100年に向けて5年毎の同窓会との提案もありました。明るい前向きな気持ちで日々過ごしていきたいと再確認した一日でした。

尚、今回の同窓会には淡路市の「ふるさと同窓会支援事業補助金」として5万円が支給されました。色々な行事にも適用されますので淡路市で何か行事を行う場合は市担当係に相談されればと思います。

津名高同窓会阪神支部へ集まった会費より ささやかながら心ばかりの寄付をさせて頂きました。会報発行の一助となれば幸いです。

皆様のご健康をお祈り申し上げます。 岩田泰臣(高13回生)



令和4・5年度 兵庫県立津名高等学校同窓会阪神支部役員

役職	卒回	氏名	役職	卒回	氏名
顧問	5	立花 和也	幹事	19	高田 穂
支部長	16	東田 雅俊		19	西 眞理子
副支部長	13	田中 種義		20	菅 数子
	15	中野 淑郎		20	広岡 俊二
	17	正面 昇		20	田内 周子
	18	杉岡 実季子		21	橋口 芳子
	18	森 章次		21	辻野 由里子
	27	奥野 豊		21	濱口 栄
	27	藤木 啓彰		22	柏木 豊彦
会計	16	上田 敏晴		23	奥田 正博
会計監事	14	南 正光		25	五条 正仁
	17	中田 晴繁		25	池町 隆明
幹事	5	河合 春子		26	濱野 恭弘
	6	坂東 章好		26	志田 守
	6	尾崎 田鶴子		27	藤森 泰宏
	9	沖 正典		27	鍋谷 高広
	14	桑名 賀代子		27	西川 和子
	15	門 康彦		28	漣 庸次朗
	15	北川 映子		28	魚 雅勝
	15	砂川 文孝		30	片山 敏彦
	15	松野 聰子		32	福谷 勲
	16	鈴木 胤美		33	魚井 和彦
	16	正徳 孝夫		34	向田 憲司
	16	砂田 則一		37	中谷 光孝
	17	潮崎 章二		37	桂 敦子
	17	上宮 正一郎		38	中野 恭典
	17	木場 弘		39	大迎 規宏
	18	柳谷 承示		39	富永 康文
	18	吉川 泰久		39	名手 健二
	18	中尾 進		43	脇本 真行
	19	花野 正悦		49	城古 博史
	19	田井地 力		52	上田 勇紀

以上64名 令和5年7月1日現在

阪神支部会費納入のお願い(年額2000円、令和5年度分)

- ★郵便振替口座 □座番号 00980-7-184478
□座名義 兵庫県立津名高等学校同窓会阪神支部
- ★銀行振込 銀行支店名 三井住友銀行鈴蘭台支店
ご利用の場合 □座番号 普通預金 5058703
□座名義 兵庫県立津名高等学校 同窓会阪神支部

同封の払込取扱票、又は左記銀行振込にて

津名高等学校同窓会ホームページ

パソコン・スマホで「百年津名高校」と検索すれば「津名高等学校同窓会ホームページ」が表示されます。

URL <http://tsunako-dosokai.com>

阪神支部からの案内・報告等も載せています。



編集委員

- | | |
|--|--|
| 中野 北川 南 田 正 上 副 東 編
野 川 中 面 上 田 委 田 集
淑 映 正 昇 敏 雅 俊 委
郎 子 光 昇 晴 俊 員 員
(15) (15) (14) (13) (17) (16) (16) | ★ 魚 福 奥 五 菅 森 杉 松
井 谷 野 条 数 章 岡 野
(和 和 豊 正 子 次 実 聰
彦 彦 豊 仁 次 季 子 子
(33) (32) (27) (25) (20) (18) (18) (15) |
|--|--|

支部報第28号の発行にあたっては多くの皆様方にご支援・ご協力いただきました。賛助広告にご協力いただいた企業やOBの皆様方、支部年会費にご協力いただいた皆様方、原稿を執筆いただいた方々をはじめ数多くの関係者の皆様方から感謝申し上げます。お陰様で今年も支部報を皆様方にお届けすることが出来ました。今号では、淡路島や母校関連の原稿を多く集めることに努めました。又、コロナ禍の収束に伴い、同期会関連の報告・告知文もいくつか掲載することができました。三年半ぶりにやっと日常生活が戻りつつあります。この支部報が同窓生の皆様の交流の一助になれば幸いです。

編集後記